

会報 しんせき 第 39 号

平成26年9月16日

発行責任者

新潟コミュニティ協議会
会長 瀬戸 範彦

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新潟コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 TEL0250-47-4640

(新潟コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)

楽しかった夏休み

各地で夏祭り・子供向け行事開催される



金屋自治会の「魚のつかみ取り」の様子
子供会行事として毎年実施

(写真提供：金屋自治会)

実りの秋がやってきました。早いものです。田植え後のまだ淡い緑の田が昨日のここのようです。今では一面黄金色の稲穂が重く垂れさがり刈入れが始まっています。

このわずかひと月前の8月、各自治会では、神社等の祭礼が行われませんでした。また、祭りに合わせて子供向けの楽しい行事を計画し、子供たちの夏の思い出づくりに奮闘されました。子供の数が減少する中、自治会役員の皆さんは知恵を出し合い、さまざまな工夫を凝らしながら地域のお祭りを盛り上げ継承されています。

さて、残暑も一段落したようです。新潟コミ協では9月後半から1月にかけて諸行事や課題がいっぱいです。新潟コミ協の活動紹介などの依頼やコミセン訪問などが相次ぎうれしく思っています。これも地域の皆様のご理解とご協力のたまものです。

10月25日(土)は恒例の「新潟ふれあい祭り(作品展を含む)」です。年々多様な作品が寄せられています。今年も多くの方からの作品をお待ちしています。



史跡めぐり

大河津分水・岩室方面

9月9日(火)



岩室の「宝山酒造」を見学。女社長さん自ら酒造りの歴史や苦労話を語ってくださいました。用意していただいた何種類かの美酒を味わい、「通」の皆さんは、微妙な違いを楽しみながら話はずんできました。

大河津分水資料館を訪れ、防災（水害）について学びました。皆さんもご承知のように信濃川は幾度となく氾濫を繰り返し、越後平野に甚大な被害を与えてきました。この被害をなくすため、増水した水が下流の越後平野に入る前にその一部を日本海に流すために作られたものです。

大河津分水可動堰付近の川幅は約720mに対して、河口付近では約180mと狭くなっており通常の川とは逆。出口付近が山となっているため、現在川幅を広げる工事が始まっているということです。所員の熱心な説明から、この工事に携わった先人の苦労と偉大さが一層心に響きました。

大河津分水がなかった新潟市などはどんな状態になるのか、そんな映像を期待していたのですが機器修理中とのことでした。



地域の夏祭り 盛大に賑やかに

大関（7月）を除く、自治会の夏祭りは8月に集中しています。各自治会の皆さんから写真を提供していただきました。準備の苦労話や祭りの様子も記載したいのですが、紙面の都合で別の機会にご紹介したいと思います。少しでも写真からその雰囲気を感じていただければありがたいのですが、白黒印刷では無理でしょうか。



小口



新郷屋



金屋



岡田



六郷



市新



大関



第2回福祉懇談会

6月28日に続き、2回目の福祉懇談会が8月27日に行われました。

1回目の内容をもとに地域課題解決の方策等について意見を出し合いました。(詳細は後日)



ご多用の中、2回にわたってご出席された皆様に感謝申し上げます。

9月14日新関コミ協杯少年野球大会

近郷より8チームが参加した第4回新関コミ協杯少年野球大会が、秋晴れ?(途中、突然の大雨)のもとに開催。

参加チーム……3位新関フェニックス ・ 菅名岳スポーツ少年団 ・ 優勝大蒲原BC
五泉スカイホークス ・ 3位巢本タイガース・月潟レッドビッキーズ・秋葉レッドナイト
2位橋田エンジェルス)。各チームとも優勝を目指して頑張りました。



お知らせ

新関ふれあい祭り

10月25日(土)

■新関コミュニティ協議会では、小学校の文化祭と同日開催し、新関地域のみなさんが楽しく交流できる文化的行事と位置付けています。

■作品展は年々出品して下さる方が多くなり大変ありがたく思っています。

今年も皆様の多種多様な作品をお待ちしています。